

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
スタートアッププログラム I			必修	2	1	前期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
堤 美智 他		413	michi.tsutsumi	水曜日 12:00～12:50		
授業の目的・概要	大学で学ぶ自分を理解することを目的とする。大学生としての振る舞いや授業における姿勢・態度を身につけると共にレポートの書き方や文章の読み方など大学生としての知的生産スキルの基礎を学ぶ。また、グループワークを通して自己を積極的に表現しコミュニケーションスキル、チームワーク力を鍛え大学生としての自己理解と他者を思いやり理解する中で専門職のあり方について考える。					
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク					
学習上の助言	大学で学ぶために必要な基礎的知識を身につけるための授業である。欠席することなく、参加すること。また、大切なことはメモをする習慣をつけてほしい。筆記用具は、必ず持参すること。					
教科書	看護学生のためのよくわかる大学での学び方2 / 監修:前原澄子遠藤俊子 / 金芳堂 / 2018					
参考書	必要に応じ講義中に紹介する。					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	大学での生活や学びがどのようなものか理解でき、実践できる。			HSU(2)(5)(6)		
②	起承転結など、文章構成の基本を学び、レポートの作成ができる。			HSU(5)(6)		
③	他者に興味をもち、コミュニケーションが図れる。			HSU(1)(4)(5)		
④	自分の意見を正確に伝える話し方を学び、実践できる。			HSU(5)		
⑤	グループメンバーと協力し合い、意見を集約することができる。			HSU(5)		
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	大学で使用する PC の使い方と設定方法について	講義	PC の作動確認をしておく。授業後には、大学のメールが届くか確認を行う。			
2	看護大学生としての身だしなみ	講義	教科書 94～96 ページ、入学オリエンテーションで配布された「安全な実習のための医療接遇とコミュニケーション」を読んでおくこと。授業中に提示された課題に取り組むこと。			
3	学習の進め方についての説明、および、大学生としての授業態度について	講義	指定の教科書とシラバスを見ておく			
4	自己表現:自己紹介をしながら始めて会うクラスメイトとコミュニケーション	講義	自分の自己アピール部分を考えておくこと。			
5	大学での学びを考える:高校の学びとどこが違うのか考える(看護大学生としての心得・大学で学ぶということ)	講義	教科書 1～8 ページを読むこと。授業中に提示された課題に取り組むこと。			
6	カリキュラムについて:履修要件、卒業要件、試験について	講義	学生便覧 p 191～243 を読むこと			
7	自学自習の方法:ほかの教科も含めた授業前後の学習の進め方や方法について	講義	今までの授業で学んだ部分の教科書を読み直すこと。			
8	看護職者としての SNS 等の適切な使用方法	講義	教科書 96～97 ページ、20～25 を読むこと。授業後、入学オリエンテーションで配布された「SNS における個人情報取り扱いガイドブック」を再度読み直すこと。			

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

9・10	ポートフォリオの作成について 自学自習の方法について	講義	教科書 183～195 ページを読んでおくこと。授業後、今まで配布された資料をまとめること。	2
11	自分の身は自分で守ろう (感染対策・予防接種)	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	1
12	感染対策・予防について	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	1
13	ストレスをためずに学生生活を送ろう	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	1
14	看護職者としての意識付け(職業意識の向上): なぜ看護を目指すのか整理する	講義	教科書 96～97 ページ、20～25 を読むこと。授業後、入学オリエンテーションで配布された「SNS における個人情報取り扱いガイドブック」を再度読み直すこと。	1
15・16	ノートの取り方	講義	教科書 10～19 ページを読むこと。また、自身が作成したノートを見直すこと。	1
17・18	レポートを書く①:レポートとは何か、レポートの構成、文章を書く上での注意点、文体についてのおさらい(主語・述語・修飾語・接続詞等)	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	1
19・20	レポートを書く②:PCでのレポート形式設定方法、表紙の書き方、引用の仕方について) ③:実際にレポートを書いてみる テーマ「大学4年間で達成したい私の目標」	講義	レポート課題1:「大学4年間で達成したい私の目標」	3
21・22	レポートを書く④:レポートを完成させ提出してみる	講義	今までの支庁資料を基に、レポートの見直しをすること。	2
23・24	チームワーク:指定されたチーム員とともに話し合いを体験し、課題を完成させる	講義・GW	教科書 108～119 ページを読んでおくこと。授業中に提示された課題に取り組むこと。	1
25・26	グループワーク訓練①:グループワークの方法と発表資料の作成方法について実践を通して学ぶ	講義・GW	授業中に提示された課題に取り組むこと。	2
27・28	卒業した高校へお礼の手紙を書く	講義	授業中に提示された課題に取り組むこと。	1
29・30	交通安全講話	講義	レポート課題2:「交通講話での学び」	2
試				

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポータル	その他	合計
		0	40	0	40	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	10	0	20
	思考・推論・創造する力	0	10	0	10	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	10	10
	発表・表現伝達する力	0	10	0	10	0	20
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	10	0	10
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	「大学4年間で達成したい私の目標」と「交通講話での学び」をそれぞれ提出してください。授業で学んだ書き方を遵守すること。				レポートにコメントを入れて、返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポータル	①	✓	配布された資料をファイルし提出することで、授業資料の整理が効果的に行われていたかを確認・評価する。				確認したファイルは、コメントして返却する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		授業中でのグループワークやオンライン授業の参加度や態度、他者とのかかわり方から評価する。積極的に授業に参加すること。				問題のある行動をした学生には、直接口頭で減点することを伝える。
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	その他看護学科全教員						
教員の実務経験	担当する教員は、大学における教育経験を10年以上有したものであり、専門地域調査士の資格を持つ。担当する看護教員は、保健師・看護師として実務経験が5年以上有したものが担当する。						
実践的授業の内容	コミュニケーションの取り方や発表の仕方など、グループワークを中心としたアクティブラーニングを取り入れた授業を行う。大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。						
そ の 他	Teamsを使った同時双方向型授業を行う場合もあるため授業時は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨する。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスを変更する可能性がある。						